

なかよし、かぞく



いろんなうちのいろんな家族。いろんなことが
いろいろあっても、やっぱり家族はあったかい。

『ティッチ』

パット・ハッチンス／作・画 石井 桃子／訳 福音館書店



ティッチは三人兄妹の末っ子です。お兄ちゃんとお姉ちゃんは大きな自転車、けれどもティッチは三輪車。体も持っているものも小さいティッチでしたが、最後の持ちものだけは違いました。

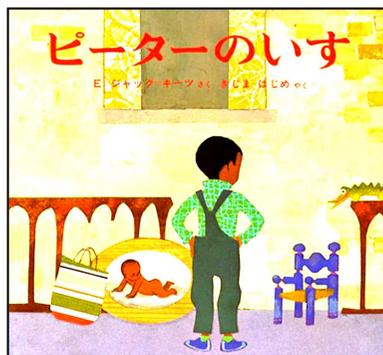
最後のページを開くと「やったー！」と歓声を上げたくくなるような一冊です。

『ピーターのいす』☺

エズラ＝ジャック＝キーツ／さく きじま はじめ／やく 偕成社

妹が生まれたピーターは、色々なものが次々と妹用が変わってしまうのが悲しくなり、自分のいすを持って家出をしてしまいます。でも、そのいすはもう小さすぎて座れません。ピーターは自分が大きくなったことに初めて気づきます。

兄妹が生まれた少年の成長を、やさしくやわらかく描いています。



『だめよ、デイビッド!』

デイビッド・シャノン／さく 小川 ひとみ 仁央／やく 評論社



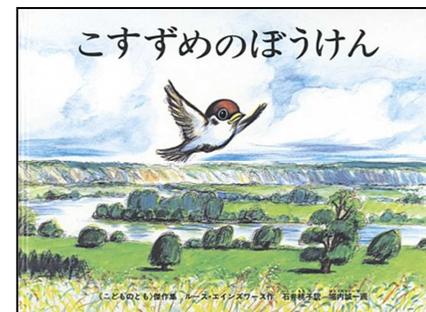
いたずら、悪ふざけ、ちらかしっぱなし…その度にママはデイビッドへ向かって、「だめ!だめ!!」

迫力のある絵がそんな行動をよく表しています。そして最後はどんなにやんちゃをしてもやっぱり、「だーいすき!!」。

『こすずめのぼうけん』 ルース・エインズワース／作

石井 桃子／訳 堀内 誠一／画 福音館書店

飛ぶことが大好きなこすずめは旅に出かけました。ところがすぐに疲れて、休める場所を探しに他の鳥の巣をたずねますが、みんな断られてしまいます。くたびれたこすずめは、巣に戻るのでしょうか。



～その他にも～

『おへそのあな』

長谷川 義史／作 BL出版

『ちいさなねこ』・

石井 桃子／さく 横内 襄／え 福音館書店

『ちいさなヒッポ』

マーシャ＝ブラウン／さく うちだ りさこ／やく 偕成社

『ねえだっこして』

竹下 文子／文 田中 清代／絵 金の星社